

令和8年度
アグリチャレンジコース

受講生募集案内

徳島県立農林水産総合技術支援センター

農業大学校

～ 目 次 ～

徳島農大では、社会人の方を対象に、農業生産技術はもとより経営能力にも優れ、“農業で儲ける”ことのできる人材の育成を目指して研修課程を設けています。

令和8年度は、「アグリチャレンジコース」として新時代の農業者育成プログラムにより地域を挙げてサポートすることとしています。

その他にも、内容や期間、学びのツールを工夫するなどして多彩なコースを設け、農業を成長産業に導く未来の農業者の皆様の参加をお待ちしています。

農業の初歩から応用まで、自分にピッタリのコースを見つけたい方は

- ・ 営農基礎講座《短期間で初歩から農業技術を学びたい》 p 1
- ・ 農業学びネット(通信講座)《インターネットで営農基礎講座の受講体験》 . . . p 2

農業技術と農業経営を身につけたい方は

- ・ 農業経営者育成講座《自立就農を目指して経営力を高めたい》 p 3
- ・ 専門技術研修《就農しながら技術力をさらに高めたい》 p 4
- ・ 農業の環境負荷低減技術講座
《有機質資材活用技術や農薬低減技術を学びたい》 p 5
- ・ 6次産業化講座《6次産業化に必要な知識を学びたい》 p 6
- ・ 農業機械安全使用者養成講座
《「トラクター」や「けん引（農耕車限定）」の安全操作を学びたい》 . . . p 7

かんきつ栽培を始めたい、栽培技術を高めたい方は

◇徳島かんきつアカデミー

- ・ 生産技術力向上コース《就農しながら技術力をさらに高めたい》 p 9
- ・ 中核的人材育成コース《独立営農するための技術や経営力を学びたい》 . . . p 11

【 受 講 申 込 書 一 覧 】 p 13

◇ ご利用のページを、切り取ってお申し込みください。

【営農基礎講座】

| | | | |
|----------|--|---------------------------|------------------------------------|
| | アグリチャレンジコースの専属講師が、わかりやすく説明し、楽しく学べます。 午前は講義を、午後は圃場で実習を行います。 | | |
| 対 象 者 | ・ 県内在住で就農しているか、就農予定の方 ・ 本県へ移住し、就農を予定している方 ・ 耕作可能な農地があるか、確保可能な方 ・ 農業参入を考えている企業の従業員の方 ・ 県内在住で農業に関心があり、基礎的な農業技術を学びたい方 | | |
| 受講要件 | 受講期間中、傷害保険に加入していること | | |
| 内 容 等 | 野菜・果樹の栽培、土壌肥料、病虫害などの基礎講義、野菜栽培を中心とした実習など、基礎的な農業技術を学びます。 講義：午前（９時３０分～１２時） 実習：午後（１３時～１５時３０分） | | |
| 募集期間 | 春夏クラス | 令和８年１月１４日（水）～令和８年２月２７日（金） | |
| | 秋冬クラス | 令和８年６月１日（月）～令和８年７月１０日（金） | |
| 開講時期 | 春夏クラス | 令和８年４月～令和８年８月 | 各クラス：月１～４回、 水曜日または木曜日 【全１５回】 |
| | 秋冬クラス | 令和８年８月～令和９年２月 | |
| 開講場所 | 農林水産総合技術支援センター講義室、および圃場 | | |
| 定 員 | 各クラス：１５名 | | |
| 受 講 料 | 各クラス：９，３００円 | | |
| 受講申込みの方法 | 綴じ込みまたは農大ホームページ（ https://www.tonodai.ac.jp/ ）の受講申込書にご記入の上、農大まで郵送してください。（締切日消印有効） | | |
| その他 | 受講料とは別に、教科書代等の経費が必要です。 | | |

【農業学びネット（通信講座）】

| | |
|----------|--|
| 対 象 者 | <p>次の条件をすべて満たす方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内在住、または県内移住予定の方 ・ 耕作可能な農地がある、または確保予定の方 ・ 県内で農業を始めたい初心者の方 ・ インターネットで、動画を視聴できる環境がある方 |
| 内 容 等 | <p>営農基礎講座の各教科1回目の講義の動画を視聴し、受講の体験をするとともに、農業に関する基礎知識について学習します。</p> |
| 募集期間 | <p>令和8年6月1日（月）～令和8年11月30日（月）</p> |
| 開講時期 | <p>令和8年7月1日（水）～令和8年12月25日（金）</p> |
| 受 講 料 | <p>無料</p> |
| 受講申込みの方法 | <p>E-mail：nougyoudaigakkou@pref.tokushima.lg.jpへ①氏名、②住所を記入し、メールをお送りください。申し込み順に選考を行います。</p> |

| | 科 目 | 内 容 |
|----|---------|---------------------|
| 1 | 農業の基礎 | 講義で出てくる基本的な語句などについて |
| 2 | 作物 | 営農基礎講座 作物1回目講義 |
| 3 | 野菜の播種方法 | セルトレイ、播種方法等 |
| 4 | キャベツの定植 | キャベツの定植から収穫 |
| 5 | 果樹 | 営農基礎講座 果樹1回目講義 |
| 6 | 土壌肥料 | 営農基礎講座 土壌肥料1回目講義 |
| 7 | 病虫害 | 営農基礎講座 病虫害1回目講義 |
| 8 | 農業機械1 | 営農基礎講座 農業機械1回目講義 |
| 9 | 農業機械2 | トラクターでの耕耘について |
| 10 | 農業機械3 | 小型管理機の使い方について |
| 11 | 農業機械4 | 動力噴霧機の使い方について |

※動画の内容は、変更になることがあります。

【農業経営者育成講座】

| | |
|--------------|---|
| コース の 特 徴 | 農業経営に必要な知識を学び、受講者自らが目指すアグリビジネスプラン（経営改善計画）を作成します。 午前は講義を、午後は圃場で実習を行います。 |
| 対 象 者 | 次の条件をすべて満たす方 ・県内在住、または県内移住予定の方 ・耕作可能な農地が十分ある方で、既に就農している、または就農予定の方 ・農業技術に加え、経営力を身につけたい方 |
| 受講要件 | 受講期間中、傷害保険に加入していること |
| 内 容 等 | 1 「農業技術」に関する専門課程 野菜、果樹、作物、土壌肥料、病害虫などの講義 |
| | 2 実習（野菜栽培を中心とした、播種、定植、管理、収穫など） |
| | 3 「農業経営」に関する専門課程 人を雇用する場合の労務管理やマーケティング、農業経営に欠かせない 計数管理などの講義 |
| | 4 「アグリビジネスプラン」作成講座 自らが目指すアグリビジネスプラン（経営改善計画）を作成し、発表する。 |
| | 5 営農相談 |
| | 6 視察研修 |
| 募集期間 | 令和8年1月14日（水）～令和8年2月27日（金） |
| 開講時期 | 令和8年4月～令和9年3月 【全32回】 月1～4回、火曜日（講師の都合で曜日を変更することがあります。） |
| 開講場所 | 農林水産総合技術支援センター講義室、および圃場 |
| 定 員 | 15名 |
| 受 講 料 | 19,630円 |
| 受講申込み の方法 | 綴じ込みまたは農大ホームページ（ https://www.tonodai.ac.jp/ ）の受講申込書にご記入の上、農大まで郵送してください。（締切日消印有効） |
| そ の 他 | 受講料とは別に、教科書代等の経費が必要です。 営農基礎講座との同時申込・受講はできません。 農業経営者育成講座、農業の環境負荷低減技術講座、6次産業化講座を同時に受講される場合、一部講義が重複しますので、ご了承ください。 |

| 科 目 | | 内 容 |
|-----|------------------|--|
| 1 | 農業技術に関する専門課程 | 作物、野菜、果樹、病虫害、鳥獣害対策、土壌肥料、農業機械など農業技術に関する講義 |
| 2 | 実習 | 野菜栽培を中心とした、播種、定植、管理、収穫などについて農大圃場で実習を行う。 |
| 3 | 「農業経営」に関する専門課程 | 人を雇用する場合の労務管理やマーケティング農業経営に欠かせない計数管理などの講義 |
| | ① 国・県等の制度・施策 | 制度資金、認定農業者制度、農産物の認証制度などについて |
| | ② 食品の流通・販売 | 市場流通、産直販売の実際と現状などについて |
| | ③ 労務管理 | 労務管理（人的資源管理）について |
| | ④ 農業経営と計数管理 | 貸借対照表、損益計算書の基本的な見方と損益分岐点分析による計数管理などについて |
| | ⑤ マーケティング論 | マーケティングの基礎知識について |
| 4 | 「アグリビジネスプラン」作成講座 | 自らが目指すアグリビジネスプラン（経営改善計画）を作成し、発表する。 |
| 5 | 営農相談 | 各農業支援センターの管内ごとで営農相談を行う |
| 6 | 視察研修 | 先進農家、試験研究などの視察 |

【専門技術研修】

| | |
|----------|--|
| クラス名 | 野菜クラス、花きクラス、果樹クラス |
| 対 象 者 | 次のすべてを満たす方 |
| | ① 県内在住で、県内で農業に従事している方、または今後従事する予定の方 |
| | ② 農業に関する相当の知識を有する方 |
| | ③ 18歳～50歳の方 |
| 内 容 | 農林水産総合技術支援センター農産園芸研究課で野菜・花・果樹について実習中心の研修を行う |
| 募集期間 | 令和8年2月27日（金）まで（当日消印有効） |
| 開講時期 | 令和8年4月～令和9年3月（受講期間、受講回数は個別対応） |
| 定 員 | 若干名 |
| 受 講 料 | 1日当たり620円 |
| 受講申込みの方法 | <p>綴じ込みまたは農大ホームページ（https://www.tonodai.ac.jp/）の受講申込書にご記入の上、農大まで郵送してください。</p> <p>（注）実習希望内容については、申し込む前に農産園芸研究課（TEL:088-674-1940）までご相談ください。</p> <p>研究用に栽培している作物を対象に実習を行いますので、品目の種類や実習内容によっては、お受けできないこともあります。</p> |

【農業の環境負荷低減技術講座】

| | |
|--------------|---|
| コース の 特 徴 | 講義は座学中心で進め、農業の環境負荷低減技術に関する知識の習得を目指します。 |
| 対 象 者 | 県内在住で農業の環境負荷低減に関心がある方 |
| 内 容 等 | 土づくり技術、有機質資材の活用方法や化学肥料を減らす技術、化学農薬を減らす技術などについて学びます。 |
| 募集期間 | 令和8年4月1日（水）～令和8年6月30日（火） |
| 開講時期 | 令和8年8月～令和9年2月 【全12回】 月2～3回、月曜日（講師の都合で曜日を変更することがあります。） |
| 開催場所 | 農林水産総合技術支援センター講義室ほか |
| 定 員 | 20名 |
| 受 講 料 | 4,920円 |
| 受講申込み の方法 | 綴じ込みまたは「農大ホームページ（ https://www.tonodai.ac.jp/ ）」の受講申込書にご記入の上、農大まで郵送してください。（締切日消印有効） |
| そ の 他 | 受講料とは別に、教科書代、教材費が必要な場合があります。 農業経営者育成講座、農業の環境負荷低減技術講座、6次産業化講座を同時に受講される場合、一部講義が重複しますので、ご了承ください。 |

| 科 目 | | 内 容 |
|-----|----------------------|------------------------------------|
| 1 | みどりの食料システム法の認定制度について | みどりの食料システム法に基づく認定制度について |
| 2 | 特別栽培・有機栽培の制度について | 特別栽培・有機栽培の認定の内容や申請方法について |
| 3 | 病虫害防除の基礎 | 病虫害防除の基礎知識について |
| 4 | 化学農薬低減技術 | 化学農薬の使用を低減するための技術について（天敵利用、IPMなど） |
| 5 | 土壌肥料の基礎 | 土壌肥料の基礎知識について |
| 6 | 土作りと有機質資材について | 土作り技術と各種有機質資材の特性について |
| 7 | 実践研修 | 有機農法の実践者等の体験談など |
| 8 | 環境負荷低減等を目指した土壌・施肥管理 | 環境負荷低減等を目指した土壌・施肥管理技術について |
| 9 | 主要作物別の環境負荷低減技術 | 主要作物別の環境負荷低減技術について |
| 10 | 「アグリビジネスプラン」作成講座 | 自らが目指すアグリビジネスプラン（経営改善計画）を作成し、発表する。 |

【6次産業化講座】

| | |
|----------|---|
| コースの特徴 | 講義は座学中心で進め、農業の6次産業化を行うのに必要な知識の習得を目指します。 |
| 対象者 | 県内在住で農業の6次産業化に関心がある方 |
| 内容等 | 食品加工学、食品衛生学、食品機能学、商品開発、食品の流通・販売、食の安全安心について学びます。 |
| 募集期間 | 令和8年2月16日（月）～令和8年4月17日（金） |
| 開講時期 | 令和8年6月～令和9年2月 【全19回】 月1～4回、主に金曜日（講師の都合で曜日を変更することがあります。） |
| 開催場所 | 農林水産総合技術支援センター講義室、その他現地での研修も実施します。 |
| 定 員 | 10名 |
| 受講料 | 7,790円 |
| 受講申込みの方法 | 綴じ込みまたは「農大ホームページ（ https://www.tonodai.ac.jp/ ）」の受講申込書にご記入の上、農大まで郵送してください。（締切日消印有効） |
| その他 | 受講料とは別に、教科書代、教材費が必要な場合があります。 農業経営者育成講座、農業の環境負荷低減技術講座、6次産業化講座を同時に受講される場合、一部講義が重複しますので、ご了承ください。 |

| 科 目 | | 内 容 |
|-----|------------------|---|
| 1 | 6次産業化 | 6次産業化の基礎知識と最近の状況について |
| 2 | 食品加工の基礎 | 食品加工の基礎について、特に農産物加工を中心に、基礎的な知識を身につける。 |
| 3 | 食品の保存・加工技術 | 食品加工の手法や原理、食品素材の特徴を学び、貯蔵・保存の原理を学ぶ。 |
| 4 | 食品の衛生管理 | 食品に起因する健康被害及び微生物について、それら疾病の特徴や危害因子の特徴及び防止方法の基礎的知識を学ぶ。 |
| 5 | 食の安全安心 | 農産物の安全安心を担保する手法に関する知識を身につける。（食品表示・HACCP・米のトレーサビリティ・GAP） |
| 6 | 商品開発の考え方 | 商品開発の考え方や実例について学ぶ。 |
| 7 | 商品開発の実践 | 地域の特産物や資源の活用方法の検討及び商品開発に必要な農産加工技術の実践と農産加工品の品質評価手法を学ぶ。 |
| 8 | マーケティング論 | マーケティングの基礎から応用までの知識を身につけることを目指す。 |
| 9 | 農業実践研修 | 農業法人や食品加工会社などの見学 |
| 10 | 「アグリビジネスプラン」作成講座 | 自らが目指すアグリビジネスプラン（経営改善計画）を作成し、発表する。 |

【農業機械安全使用者養成講座】

1 大型特殊自動車（農耕車限定）

○講座の概要

【春期クラス】

| 募集期間 | 令和8年1月13日（火）～令和8年2月27日（金） | | | |
|---|---------------------------|--------------|-----------------------|--------|
| 内 容 | | 開講時期 | 定員 | 受講料 |
| (1) 農業機械の安全使用に関する講義と演習 【3日間】 | | 5/27～29 | 20名 | 4,320円 |
| (2) 大型特殊自動車（農耕車限定）の安全運転に関する実習 【6日間】 | | 6/3～5、6/8～10 | | |
| ○本講座修了者を対象に、徳島県警察本部が実施する免許試験の日程 ・ 大特免許試験（6/11） ・ 大特免許交付（6/12） | | | 注)受験には、別途 手数料が必要です | |

【夏期クラス】

| 募集期間 | 令和8年5月11日（月）～令和8年6月15日（月） | | | |
|---|---------------------------|---------------|-----------------------|--------|
| 内 容 | | 開講時期 | 定員 | 受講料 |
| (1) 農業機械の安全使用に関する講義と演習 【3日間】 | | 7/22～24 | 20名 | 4,320円 |
| (2) 大型特殊自動車（農耕車限定）の安全運転に関する実習 【6日間】 | | 7/29～31、8/3～5 | | |
| ○本講座修了者を対象に、徳島県警察本部が実施する免許試験の日程 ・ 大特免許試験（8/6） ・ 大特免許交付（8/7） | | | 注)受験には、別途 手数料が必要です | |

【秋期クラス】

| 募集期間 | 令和8年7月6日（月）～令和8年8月10日（月） | | | |
|---|--------------------------|------------------|-----------------------|--------|
| 内 容 | | 開講時期 | 定員 | 受講料 |
| (1) 農業機械の安全使用に関する講義と演習 【3日間】 | | 9/24、25、28 | 20名 | 4,320円 |
| (2) 大型特殊自動車（農耕車限定）の安全運転に関する実習 【6日間】 | | 9/30～10/2、10/5～7 | | |
| ○本講座修了者を対象に、徳島県警察本部が実施する免許試験の日程 ・ 大特免許試験（10/8） ・ 大特免許交付（10/9） | | | 注)受験には、別途 手数料が必要です | |

2 けん引（農耕車限定）

○講座の概要

| 募集期間 | | 令和8年7月6日（月）～令和8年8月10日（月） | | |
|---|--|--------------------------|-----------------------|--------|
| 内 容 | | 開講時期 | 定員 | 受講料 |
| (1) 農業機械の安全使用に関する講義と演習【3日間】 | | 9/24、25、28 | 8 名 | 4,320円 |
| (2) けん引（農耕車限定）の安全運転に関する実習【6日間】 | | 11/25～27、11/30～12/2 | | |
| (3) けん引(農耕車限定)の安全運転に関する実習のみの受講 ※【6日間】 | | (2)と同じ | | 2,460円 |
| ○本講座修了者を対象に、徳島県警察本部が実施する免許試験の日程 ・ けん引免許試験（12/3） ・ けん引免許交付（12/4） | | | 注)受験には、別途 手数料が必要です | |

※2012（平成24）年度以降に本講座を受講された方が対象

| | |
|----------|--|
| 対 象 者 | <p>県内在住の農業者の方</p> <p>ただし、認定新規就農者、認定農業者、県内の集落営農組織の従事者、県内のファームサービス事業体の従事者の方から優先書類選考の対象者として選考します。</p> |
| 受講申込みの方法 | <p>綴じ込み又はホームページ上 (https://www.tonodai.ac.jp/) の受講申込書にご記入の上、農大まで封書で郵送してください。（締切日消印有効）</p> <p>優先書類選考の対象となる方は、受講申込書と併せて次の書類を提出してください。</p> <p>① 認定新規就農者・認定農業者は、「認定証の写し」</p> <p>② 認定農業者・集落営農組織・ファームサービス事業体の従事者は、 「当該事業体等の従事者であることを証するものの写し」（様式不問）</p> <p>※ 先着順ではありませんので、募集期間内にお申し込みください。</p> <p>※ 募集期間より前にお申込みいただいても受理できませんので、無効とさせていただきます。</p> <p>※ 書類選考により受講の可否を決定し、受付終了後2週間程度で、応募者全員に郵送で通知します。</p> <p>電話での問合せには、お答えできません。</p> |
| 注意事項 | <p>1 大型特殊自動車免許（農耕車限定）の受験には「普通自動車・準中型・中型運転免許」が必要です。</p> <p>2 けん引免許(農耕車限定)の受験には「大型特殊自動車免許」または「大型特殊自動車免許(農耕車限定)」が必要です。</p> <p>3 受講料の他に、別途傷害保険料が必要です。</p> <p>4 「安全運転に関する実習」は、「農業機械の安全使用に関する講義と演習」を受講した人のみ対象とします。ただし、「けん引受講者」で2012（平成24）年度以降に本講座を受講された方は、「講義と演習」は免除されます。</p> |

◇徳島かんきつアカデミー
【生産技術力向上コース】

| | |
|----------------------------|--|
| コース の 特 徴 | かんきつ栽培の主要な技術を必要に応じ、選択して受講できます。明日からの果樹栽培に役立つ技術を講義と実習で身につけていただきます。 |
| 対 象 者 | 次の条件の全てを満たす方 ① 令和8年4月1日現在で満18歳以上の方 ② 徳島県内で就農している方、就農を予定している方、 又は農業参入を考えている企業等の従業員 ③ 県内在住又は県内移住予定者 ④ 令和8年4月1日以降から1年間の傷害保険に加入する方 ※講義開始までに加入しておくこと |
| 内 容 等 (詳細はカリ キュラム参照) | Ⅰ 接木と整枝剪定（かんきつの接木、整枝剪定） Ⅱ 果実栽培管理（早期成園化技術、栽培管理の基礎、品質管理の基礎、 農業機械の基礎） 病虫害防除と土壌管理（病虫害防除、土壌肥料の基礎、雑草管理、 鳥獣被害防止対策） 等 |
| 募集期間 | 令和7年9月16日（火）～令和8年1月30日（金） |
| 開講期間 | 令和8年4月～令和9年3月、週に1～2回開講 ※ 選択した科目により異なります。次頁のカリキュラムを参照してください。 |
| 開講場所 | 農業大学校 勝浦庁舎 （勝浦郡勝浦町沼江字中筋11-12） 一部講義については、徳島県立農林水産総合技術支援センター石井庁舎（石井町） |
| 定 員 | 25名程度 |
| 受 講 料 | Ⅰ）接木と整枝剪定 ： 4,100円（年間） Ⅱ）果実栽培管理 ： 8,200円（年間） |
| 受講申込み の方法 | 綴じ込みまたは「農大ホームページ（ https://www.tonodai.ac.jp/ ）」の受講 申込書と選択科目票にご記入の上、郵送又は持参により農業大学校(勝浦)まで 申し込んでください。 郵送の場合は「受講申込書類在中」と朱書きし、必ず「簡易書留郵便」により、 送付(募集最終日の消印まで有効)してください。 ※書面審査により受講者を決定します。 |
| そ の 他 | 受講料とは別にテキスト代等の経費が必要です。 作業着・長靴・カッパ・手袋・剪定ばさみなど個人の所有物となるものは各自 ご準備ください。 |

別紙 1

令和 8 年度 徳島かんきつアカデミー カリキュラム
【生産技術力向上コース】

| 研修科目 履修項目 | 研 修 内 容 | 研修の 時期・日数※2 | |
|--|--------------------------|----------------|------|
| | | 時期 | 日数 |
| I 接木と整枝剪定 | | | |
| 1 整枝・剪定 | ミカン・スダチ・ユズの整枝剪定 | 3,4月 | 8.0 |
| 2 接木 | 接木の方法 | 5,8月 | 2.0 |
| II 果実栽培管理 | | | |
| 1 栽培技術 | | | |
| ① 早期成園化技術 | ①計画密植、大苗移植による早期成園化 | 3,4,6月 | 1.0 |
| | ②苗木の定植・育苗・幼木管理 | 通年 | 1.0 |
| ② 栽培管理の基礎 | ①農業気象災害の発生とその対策 | 6～9月 | 1.0 |
| | ②枝水挿し法等による着花予想技術 | 1月 | 1.0 |
| | ③隔年結果防止対策、ミカンの交互結実法 | 6,7月 | 1.0 |
| | ④高糖度ミカン生産技術 | 4～11月 | 1.0 |
| ③ 品質管理の基礎 | ①ミカン摘果・スダチ摘果摘葉・ユズ摘果方法 | 7,8月 | 1.0 |
| | ②ミカン・スダチ・ユズの収穫、選果選別・出荷方法 | 9,11,12月 | 2.0 |
| | ③ミカン・スダチ・ユズの予措と貯蔵管理 | 2月 | 1.0 |
| | ④農産物の流通と販売 | 9月 | 1.0 |
| ④ 農業機械の基礎 | 省力的・効率的な機械の活用 | 4,10月 | 1.0 |
| 2 病虫害防除と土壌管理 | | | |
| ① 病虫害防除 | ①病虫害の生理生態の解説 | 5月 | 1.0 |
| | ②病虫害防除対策 | 5～10月 | 2.0 |
| ② 土壌肥料の基礎 | ①土壌肥料の概論とカンキツの肥培管理技術 | 6月 | 1.0 |
| | ②生理障害と栄養診断による対策 | 11月 | 1.0 |
| | ③土壌分析と土壌改良 | 1月 | 1.0 |
| ③ 雑草管理 | 雑草の種類と管理方法 | 4～9月 | 1.0 |
| ④ 鳥獣被害防止対策 | 鳥獣被害防止対策の実習 | 10月 | 1.0 |
| 注 1 研修科目「I 接木と整枝剪定」、「II 果実栽培管理」を選択してください(複数選択可)。 | | 日数計 | 30.0 |
| 注 2 研修の時期、日程は変更することがあります。後日送付するスケジュール表をご確認ください。 | | | |

◇徳島かんきつアカデミー
【中核的人材育成コース】

| | |
|----------------------------|--|
| コース の 特 徴 | かんきつ栽培の初歩から応用まで、理論と技術を講義と実習を通して身につけてもらい、かんきつ農家として独立就農できるレベルの実践的知識・技術の習得を目指します。 |
| 対 象 者 | 次の条件の全てを満たす方 ① 令和 8 年 4 月 1 日現在で満18歳以上の方 ② 徳島県内で就農している方、就農を予定している方、 又は農業参入を考えている企業等の従業員 ③ 県内在住又は県内移住予定者 ④ 令和 8 年 4 月 1 日以降から 1 年間の傷害保険に加入する方 ※講義開始までに加入しておくこと |
| 内 容 等 (詳細はカリ キュラム参照) | I 果樹栽培の基礎（果樹園芸学の基礎、農業経営の基礎、農家等研修） II 接木と整枝剪定（かんきつの接木、整枝剪定） III 栽培管理（早期成園化技術、栽培管理の基礎、品質管理の基礎、 農業機械の基礎、スマート農業） IV 病虫害防除と土壌管理（病虫害防除、土壌肥料の基礎、雑草管理、 鳥獣被害防止対策） 等 |
| 募集期間 | 令和 7 年 9 月 1 6 日（火）～令和 8 年 1 月 3 0 日（金） |
| 開講期間 | 原則 1 年間（令和 8 年 4 月～令和 9 年 3 月） |
| 開講場所 | 農業大学校 勝浦庁舎 （勝浦郡勝浦町沼江字中筋11-12） 一部講義については、徳島県立農林水産総合技術支援センター石井庁舎（石井町） 県内かんきつ農家等 |
| 定 員 | 5 名程度 |
| 受 講 料 | 1 6, 8 2 0 円（年間） |
| 受講申込み の方法 | 綴じ込みまたは「農大ホームページ（ https://www.tonodai.ac.jp/ ）」の受講 申込書と志望理由書にご記入の上、郵送又は持参により農業大学校（勝浦）まで 申し込んでください。 郵送の場合は「受講申込書類在中」と朱書きし、必ず「簡易書留郵便」により、 送付（募集最終日の消印まで有効）してください。 ※適宜、選考審査（書面審査・面接審査）を実施し、受講者を決定します。 |
| そ の 他 | 受講料とは別にテキスト代等の経費が必要です。 作業着・長靴・カップ・手袋・剪定ばさみなど個人の所有物となるものは各自 ご準備ください。 |

別紙 2

令和 8 年度 徳島かんきつアカデミー カリキュラム
【中核的人材育成コース】

| 研修科目 履修項目 | 研 修 内 容 | 研修の 時期・日数※1 | |
|---------------|-------------------------|----------------|-------|
| | | 時期 | 日数 |
| I 果樹栽培の基礎 | | | |
| 1 果樹園芸学の基礎 | ①果樹の生理・生態・分類学 等 | 4～9月 | 3.0 |
| | ②果樹の生育、結果習性 等 | 4～9月 | 3.0 |
| | ③農産物の加工技術 | 1月 | 1.0 |
| | ④ 6 次産業化の基礎 | 5,6月 | 2.0 |
| 2 農業経営の基礎 | ①農業経営の基礎 | 10月 | 1.0 |
| | ②農業簿記の基礎 | 通年 | 2.0 |
| 3 農家等研修 | カンキツ栽培等の現地研修・プロジェクト活動 等 | 通年 | 40.0 |
| II 接木と整枝剪定 | | | |
| 1 整枝・剪定 | ミカン・スダチ・ユズの整枝剪定 | 3,4月 | 26.0 |
| 2 接木 | ミカン・スダチ・ユズの接木方法 | 5,8月 | 8.0 |
| III 栽培管理 | | | |
| 1 早期成園化技術 | ①計画密植、大苗移植による早期成園化 | 3,4,6月 | 6.0 |
| | ②苗木の定植・育苗・幼木管理 | 通年 | 5.0 |
| 2 栽培管理の基礎 | ①ほ場の管理方法 | 通年 | 5.0 |
| | ②農業気象災害の発生とその対策 | 6～9月 | 4.0 |
| | ③枝水挿し法等による着花予測技術 | 1月 | 1.0 |
| | ④隔年結果防止対策、ミカンの交互結実法 | 6,7月 | 4.0 |
| | ⑤高糖度ミカン生産技術 | 4～11月 | 7.0 |
| 3 品質管理の基礎 | ①ミカン摘果・スダチ摘果摘葉・ユズ摘果方法 | 7,8月 | 15.0 |
| | ②ミカン・スダチ・ユズの収穫・選別・出荷 | 9,11,12月 | 20.0 |
| | ③ミカン・スダチ・ユズの予措と貯蔵管理 | 1～3月 | 12.0 |
| | ④農産物の流通と販売 | 9月 | 2.0 |
| 4 農業機械の基礎 | 省力的・効率的な機械の活用 | 4,10月 | 2.0 |
| 5 スマート農業 | 環境測定・ドローン等実習 | 通年 | 3.0 |
| IV 病虫害防除と土壌管理 | | | |
| 1 病虫害防除 | ①病虫害の生理生態の解説 | 5月 | 1.0 |
| | ②病虫害防除対策 | 5～9月 | 12.0 |
| 2 土壌肥料の基礎 | ①土壌肥料の概論とカンキツの肥培管理技術 | 6月 | 3.0 |
| | ②生理障害と栄養診断による対策 | 11月 | 2.0 |
| | ③土壌分析と土壌改良 | 1月 | 2.0 |
| 3 雑草管理 | 雑草の種類と管理方法 | 4～9月 | 6.0 |
| 4 鳥獣被害防止対策 | 鳥獣被害防止対策の実習 | 10月 | 2.0 |
| | | 日数計 | 200.0 |

注1 研修の時期、日数は変更することがあります。後日送付するスケジュール表をご確認ください。

受講申込書一覧

| 講 座 名 | 様 式 | NO. |
|---------------|-------|-----|
| 営農基礎講座 | 受講申込書 | ① |
| 農業経営者育成講座 | 受講申込書 | ② |
| 専門技術研修 | 受講申込書 | ③ |
| 農業の環境負荷低減技術講座 | 受講申込書 | ④ |
| 6次産業化講座 | 受講申込書 | ⑤ |
| 農業機械安全使用者育成講座 | 受講申込書 | ⑥ |
| 徳島かんきつアカデミー | | |
| （生産技術力向上コース） | 受講申込書 | ⑦ |
| （中核的人材育成コース） | 受講申込書 | ⑧ |

営農基礎講座 受講申込書

申込 令和 年 月 日

| | |
|-----------------|--|
| 希望クラス (○で囲む) | (春 夏 ・ 秋 冬) クラス |
| 希望曜日 (○で囲む) | 水曜日 ・ 木曜日 ・ どちらでもよい ※受講曜日はご希望に添えない場合がありますので、ご了承ください。 |

| | | | |
|------------|---------|---|------------|
| フリガナ | | | 性別(注) |
| 氏 名 | | | |
| 住 所 | 〒 — — | | |
| 生 年 月 日 | 昭和 ・ 平成 | 年 | 月 日生 (歳) |
| 携帯電話番号 | — — | | |
| 自宅電話番号 | — — | | |
| F A X 番 号 | — — | | |
| E-mailアドレス | | | |

以下は書類選考の参考としますので、必ずお答えください。

| |
|--|
| 1. 申し込み時点での農業に関する状況について、該当する番号を○で囲んでください。 |
| ① 既に就農している(専業) (年 前から) |
| ② 他の仕事をしながら農業もしている(兼業) (年 前から) |
| ③ 今は就農していないが就農する予定である (年 月 頃から) |
| ④ その他 () |
| 2. 現在、耕作可能な農地面積はどのくらいありますか。 |
| 現在栽培している農地 (a)、 休耕等で栽培していない農地 (a)、 現在貸しているが返却予定のある農地 (a)、その他 (a) |
| 3. 現在作物を作っている人は、その栽培品目と栽培面積を記入して下さい。 |
| 作物名 () (a)、作物名 () (a) 作物名 () (a)、作物名 () (a) |
| 4. 当講座で特に学びたい事項は何ですか。 |
| _____ |
| 5. 今後の農業経営について、栽培品目、栽培面積、販売額見込み、将来の構想などについて記入してください。(記入欄が足りない場合は裏面もご使用ください。) |
| _____ |
| _____ |
| ※これまでの受講歴の有・無を記入してください。(公開講座、農業機械安全使用者養成講座を除く) |
| ない ・ ある (年度 講座名 :) |

(注) 性別の記入は任意です。

この申込書は就農支援のために利用するもので他の目的で利用することはありません。ただし、徳島県立農林水産総合技術支援センター内で受講後のフォローアップに役立てるため利用する場合があります。

(表面からつづき)

(5. 今後の農業経営について)

[illegible]

農業経営者育成講座 受講申込書

申込 令和 年 月 日

| | | | |
|------------|---------|-------|---------|
| フリガナ | | | 性別(注) |
| 氏 名 | | | |
| 住 所 | 〒 — | | |
| 生 年 月 日 | 昭和 ・ 平成 | 年 月 日 | 生 (歳) |
| 携帯電話番号 | — — | | |
| 自宅電話番号 | — — | | |
| F A X 番 号 | — — | | |
| E-mailアドレス | | | |

以下は書類選考の参考としますので、必ずお答えください。

| | | | |
|--|-----------------------|---------|---------|
| 1. 申し込み時点での農業に関する状況について、該当する番号を○で囲んでください。 | | | |
| ① | 既に就農している（専業）（ | 年前から） | |
| ② | 他の仕事をしながら農業もしている（兼業）（ | 年前から） | |
| ③ | 今は就農していないが就農する予定である（ | 年 月頃から） | |
| ④ | その他（ | | ） |
| 2. 現在、耕作可能な農地面積はどのくらいありますか。 | | | |
| 現在栽培している農地（ a ）、 休耕等で栽培していない農地（ a ）、 現在貸しているが返却予定のある農地（ a ）、その他（ a ） | | | |
| 3. 現在作物を作っている人は、その栽培品目と栽培面積を記入して下さい。 | | | |
| 作物名（ | ）（ a ） | 作物名（ | ）（ a ） |
| 作物名（ | ）（ a ） | 作物名（ | ）（ a ） |
| 4. 当講座で特に学びたい事項は何ですか。 | | | |
| <hr/> <hr/> | | | |
| 5. 今後の農業経営について、栽培品目、栽培面積、販売額見込み、将来の構想などについて記入してください。（記入欄が足りない場合は裏面もご使用ください。） | | | |
| <hr/> <hr/> <hr/> | | | |
| ※これまでの受講歴の有・無を記入してください。（公開講座、農業機械安全使用者養成講座を除く） | | | |
| ない | ・ | ある（ | 年度 講座名： |
| | | | ） |

(注) 性別の記入は任意です。

この申込書は就農支援のために利用するもので他の目的で利用することはありません。ただし、徳島県立農林水産総合技術支援センター内で受講後のフォローアップに役立てるため利用する場合があります。

(表面からつづき)

(5. 今後の農業経営について)

This image shows a single page of white paper with horizontal blue or grey ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is no handwriting or other markings on the paper.

(表面からつづき)

(5. 今後の農業経営について)

[illegible]

農業の環境負荷低減技術講座 受講申込書

申込 令和 年 月 日

| | | |
|------------|---------------------|-------|
| フリガナ | | 性別(注) |
| 氏 名 | | |
| 住 所 | 〒 — | |
| 生 年 月 日 | 昭和 ・ 平成 年 月 日生 (歳) | |
| 携帯電話番号 | — | — |
| 自宅電話番号 | — | — |
| F A X 番 号 | — | — |
| E-mailアドレス | | |

以下は書類選考の参考としますので、必ずお答えください。

| | | |
|--|----------------------|--|
| 1. 申し込み時点での農業に関する状況について、該当する番号を○で囲んでください。 | | |
| ① 既に就農している（専業） (年前から) | | |
| ② 他の仕事をしながら農業もしている（兼業） (年前から) | | |
| ③ 今は就農していないが就農する予定である (年 月頃から) | | |
| ④ その他 () | | |
| 2. 現在、耕作可能な農地面積はどのくらいありますか。 | | |
| 現在栽培している農地 (a)、 | 休耕等で栽培していない農地 (a)、 | |
| 現在貸しているが返却予定のある農地 (a)、 | その他 (a) | |
| 3. 現在作物を作っている人は、その栽培品目と栽培面積を記入して下さい。 | | |
| 作物名 () (a)、 | 作物名 () (a) | |
| 作物名 () (a)、 | 作物名 () (a) | |
| 4. 当講座で特に学びたい事項は何ですか。 | | |
| <hr/> <hr/> | | |
| 5. 今後の農業経営について、栽培品目、栽培面積、販売額見込み、将来の構想などについて記入してください。（記入欄が足りない場合は裏面もご使用ください。） | | |
| <hr/> <hr/> <hr/> | | |
| ※これまでの受講歴の有・無を記入してください。（公開講座、農業機械安全使用者養成講座を除く） | | |
| ない ・ ある (年度 講座名 :) | | |

(注) 性別の記入は任意です。

この申込書は就農支援のために利用するもので他の目的で利用することはありません。ただし、徳島県立農林水産総合技術支援センター内で受講後のフォローアップに役立てるため利用する場合があります。

(表面からつづき)

(5. 今後の農業経営について)

[illegible]

6次産業化講座 受講申込書

申込 令和 年 月 日

| | | |
|------------|---------------------|-------|
| フリガナ | | 性別(注) |
| 氏 名 | | |
| 住 所 | 〒 — | |
| 生 年 月 日 | 昭和 ・ 平成 年 月 日生 (歳) | |
| 携帯電話番号 | — | — |
| 自宅電話番号 | — | — |
| F A X 番 号 | — | — |
| E-mailアドレス | | |

以下は書類選考の参考としますので、必ずお答えください。

| |
|--|
| 1. 申し込み時点での農業に関する状況について、該当する番号を○で囲んでください。 |
| ① 既に就農している（専業） (年前から) |
| ② 他の仕事をしながら農業もしている（兼業） (年前から) |
| ③ 今は就農していないが就農する予定である (年 月頃から) |
| ④ その他 () |
| 2. 現在の経営内容（栽培作物、面積、加工の有無など）について記述してください。 |
| _____ |
| _____ |
| 3. 当講座で特に学びたい事項は何ですか。 |
| _____ |
| 4. 現在の経営をどのように改革しようとお考えですか。簡単に記述してください。 |
| _____ |
| _____ |
| _____ |
| _____ |
| ※これまでの受講歴の有・無を記入してください。（公開講座、農業機械安全使用者養成講座を除く） |
| ない ・ ある (年度 講座名：) |

(注) 性別の記入は任意です。

この申込書は就農支援のために利用するもので他の目的で利用することはありません。ただし、徳島県立農林水産総合技術支援センター内で受講後のフォローアップに役立てるため利用する場合があります。

（
切
取
線
）

農業機械安全使用者養成講座 受講申込書

申込日 令和 年 月 日

| | |
|----------------|---|
| クラス名 (○で囲む) | 春 期 ク ラ ス ・ 夏 期 ク ラ ス ・ 秋 期 ク ラ ス ・ けん引 |
|----------------|---|

注) 先着順ではありませんので、募集期間内にお申し込みください。郵送は、締切日当日消印有効とします。
 なお、募集期間より前に申し込まれても受理できません。期日前申込みは無効となります。

| | | | | |
|-------------|---|--|---|--|
| 申 込 者 | 事業体等の 名称 | 代表者の 役職・氏名 | | |
| | 個人でお申込みの方は受講者の欄にご記入ください | | | |
| 受 講 者 | 住 所 | 個人でお申込みの方は受講者の欄にご記入ください | | |
| | フリガナ | | | 性 別 (注) |
| | 氏 名 | | | |
| | 住 所 | 〒 | | |
| | 生年月日 | 昭和 ・ 平成 年 月 日生 (歳) | | |
| | 電 話 | () - | | |
| | 日中の連絡先 (携帯電話など) | () - | | |
| | 取得希望免許 (○で囲む) | ① 大型特殊自動車 (農耕車限定) ② けん引 (農耕車限定) ③ 免許を取得しない | | |
| | 上記免許の 必要な理由 (具体的に) | | | |
| | 優先対象に該当する 方は、対象項目を○ で囲み、関係書類を 添付すること | ① 認定新規就農者 ② 認定農業者 (本 人 ・ 従事者等 ※○で囲む) ③ 集落営農組織の従事者 ④ ファームサービス事業体の従事者 ※①、②の本人は「認定証の写し」を添付。 ②の従事者等は「認定証の写し」と「従事者等であることを証するものの写し」を添付。 ③、④は「事業体の従事者であることを証するものの写し」を添付。 添付がない場合は、優先書類選考対象となりませんのでご了承ください。 | | |
| | | (経営規模 面積) | 耕作地 | ① 申請者の総耕作面積 (a) ※賃借地を含む、受託面積は含まない ② 年間受託面積 (h a) ※ファームサービス事業体のみ記入 |
| | 主要な 栽培作物 (上位2つ) | | ① 作物名 () (a) ② 作物名 () (a) ③ 畜種名 (乳牛 ・ 肉用牛 ・ その他) (計 頭) ※畜種名は、畜産農家のみ記入 | |
| | 所有するトラ クターの状況 (出力等を記入) | | | |

(注) 性別の記入は任意です。

| | |
|------|--|
| ※ 番号 | |
|------|--|

令和8年度 徳島かんきつアカデミー 受講申込書
【生産技術力向上コース】

申込日 令和 年 月 日

希望する選択科目（科目詳細は別紙1参照）

| | |
|------|--|
| 第一希望 | |
| 第二希望 | |
| 第三希望 | |

| | | |
|-----|------|--------------------------|
| 記入例 | 第一希望 | I) 接木と整枝剪定 II) 果実栽培管理 |
| | 第二希望 | I) 接木と整枝剪定 |
| | 第三希望 | II) 果実栽培管理 |

※希望する科目I)、II)、III)のいずれかを希望欄に一つ記入してください(記入例参照)。
希望は、第三希望まで記入できます。定員を超えた場合は、希望順位の高いものから優先して選考します。

| | | |
|------------|------------------|-------|
| フリガナ | | 性別(注) |
| 氏名 | | |
| 住所 | 〒 — | |
| 生年月日 | 昭和・平成 年 月 日生(歳) | |
| 携帯電話番号 | — — | |
| 自宅電話番号 | — — | |
| FAX番号 | — — | |
| E-mailアドレス | | |

以下は書類選考の参考としますので、必ずお答えください。

| |
|---|
| 1. 申し込み時点での農業に関する状況について、該当する番号を○で囲んでください。 ① 既に就農している(専業)(年前から) ② 他の仕事をしながら農業もしている(兼業)(年前から) ③ 今は就農していないが就農する予定である(年 月頃から) ④ その他() |
| 2. 現在、耕作可能な農地面積はどのくらいありますか。 現在栽培している農地(a)、休耕等で栽培していない農地(a)、 現在貸しているが返却予定のある農地(a)、その他(a) |
| 3. 現在作物を作っている人は、その栽培品目と栽培面積を記入して下さい。 作物名() (a)、作物名() (a) 作物名() (a)、作物名() (a) |
| 4. 当講座で特に学びたい事項は何ですか。 |
| 5. 今後の農業経営について、栽培品目、栽培面積、販売額見込み、将来の構想などについて記入してください。(記入欄が足りない場合は裏面もご使用ください。) |

(注) 性別の記入は任意です。
この申込書は就農支援のために利用するもので他の目的で利用することはありません。ただし、徳島県立農林水産総合技術支援センター内で受講後のフォローアップに役立てるため利用する場合があります。

(表面からつづき)

(5. 今後の農業経営について)

This image shows a single page of white paper with horizontal blue or grey ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is no handwriting or other markings on the paper.

※ 番号

令和8年度 徳島かんきつアカデミー 受講申込書
【 中核的人材育成コース 】

申込日 令和 年 月 日

| | | |
|--|----------------------|-------|
| フリガナ | | 性別(注) |
| 氏 名 | | |
| 住 所 | 〒 — | |
| 生 年 月 日 | 昭和 ・ 平成 年 月 日生 (歳) | |
| 携帯電話番号 | — — | |
| 自宅電話番号 | — — | |
| F A X 番 号 | — — | |
| E-mailアドレス | | |
| <p>この申込書に記載した全ての事項について相違ありません。 また、私は、次のいずれにも該当しておりません。</p> <p>① 禁固以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者</p> <p>② 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者</p> <p>令和 年 月 日</p> <p>氏名 (自署)</p> | | |

(注) 性別の記入は任意です。

この申込書は就農支援のために利用するもので他の目的で利用することはありません。ただし、徳島県立農林水産総合技術支援センター内で受講後のフォローアップに役立てるため利用する場合があります。

裏面の「志望理由書」もご記入ください。

令和8年度 徳島かんきつアカデミー 受講申込書

【 中核の人材育成コース 】 志望理由書

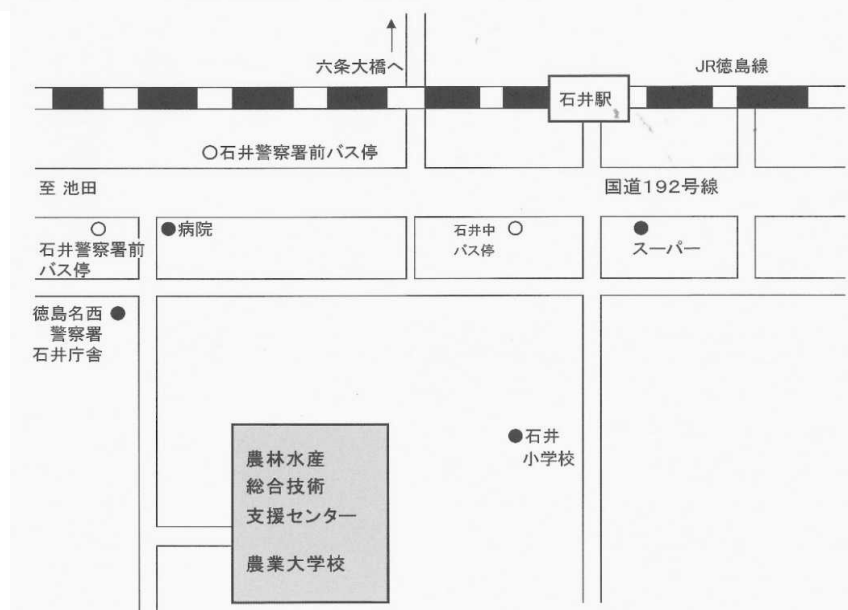
徳島かんきつアカデミー受講の動機、受講修了後の就農ビジョンなどについて具体的に記載してください。

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

| | | |
|------|----------------------------------|--|
| 就農計画 | 就農希望地 | |
| | 就農形態 [該当する□に チェックする] | <input type="checkbox"/> 新たに農業経営を開始 <input type="checkbox"/> 親（三親等以内の親族を含む。以下同じ。） の農業経営とは別に新たな部門を開始 <input type="checkbox"/> 親の農業経営を継承（ <input type="checkbox"/> 全部、 <input type="checkbox"/> 一部） <input type="checkbox"/> 雇用就農 <input type="checkbox"/> 親元就農 |

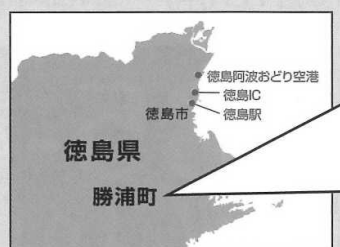
＜農業大学校へのアクセス＞

- ・ JR石井駅から徒歩20分
- ・ 徳島バス 徳島駅発 川島または西麻植行き 石井警察前下車 南へ徒歩10分
- ・ 徳島バス 川島庁舎前発 徳島駅行き 石井警察前下車 南へ徒歩10分



アクセス

徳島阿波踊り空港から車で50分
JR徳島駅から車で40分
徳島バス西岡停留所から徒歩15分



＜お問い合わせ＞

◆ アグリチャレンジコース

徳島県立農林水産総合技術支援センター 農業大学校
〒779-3233 徳島県名西郡石井町石井字石井1660
電話：088-674-1026 FAX：088-674-8129
Email：nougyoudaigakkou@pref.tokushima.lg.jp

◆ 徳島かんきつアカデミー

徳島県立農林水産総合技術支援センター
農業大学校(勝浦)/かんきつテラス徳島
〒771-4301 徳島県勝浦郡勝浦町大字沼江字中筋11-12
電話：0885-42-2545 FAX：0885-42-2574

(注)問い合わせ・申込みは、平日の9時～17時に受付けています。